

全体会

受付 13:00 ~ パフォーマンススペース

第1部 (13:30 ~ 14:30)

参加費 1000円
(高校生以下 500円)

○南インド古典舞踊 ふじわらまなみさん (インド古典舞踊グループマリックダンスユニテ主宰、関西日印文化協会理事)

南インド発祥の古典舞踊バラタティヤムは、太古から寺院で踊られ、神々への祈り、感謝、神話を表す。オープニングとしてカネーシャ神のイベントの成功を祈る踊りと楽しいリズムでいも躍るシヴァ神の踊りを披露。

○劇団シルバームーン「三途の川の渡しにて」

死んだら必ず行くという三途の川、はたどんな人がやってくるのか、ちょっと覗いてみましょう。生き方のヒントがありそうです。

☆劇団シルバームーン(研究会の成果を発表するためのお笑い劇団。(5年60回の公演))

第2部 (14:45 ~ 17:15)

<シンポジウム>

○一人ひとりを大切に作るシステムをつくらう ~ 家族単位から個人単位へ ~

藤藪庸一さん、入江一恵さん、伊田広行さん

観光名所の和歌山県白浜町の三段壁を訪れる自殺志願者を保護し、共同生活を通じて社会復帰を目指す活動をしているNPO白浜レスキューネットワークの藤藪庸一さん。高齢者の自立した生活を支えるために一人暮らし高齢者のもとに、お弁当を届け、見守りを続けてきて、住の問題と地域の連携した支え合い体制を次の課題と語るNPOひまわり会の入江一恵さん。シングル単位の家族論を他に先駆けて展開し、一人ひとりを大切にしつつ、支え合うシステムの実現を模索する伊田広行さんをお迎えして、家族単位から個人単位へ、しかし、孤立することなく緩やかになつていこうという支え合うセーフティネットの構築について参加者との意見交換を交えてその可能性を探りたいと思います。

雑誌「くらしと教育をつなぐWe」
年間購読 5000円(送料込) 1冊 800円(送料別)
お申し込みはフェイスブックまで
☆Weフォーラムとは... info@femix.co.jp

雑誌「くらしと教育をつなぐWe」の読者においてつくれたWeの会と、開催地の実行委員会が毎年夏に開催。今年で30回目。

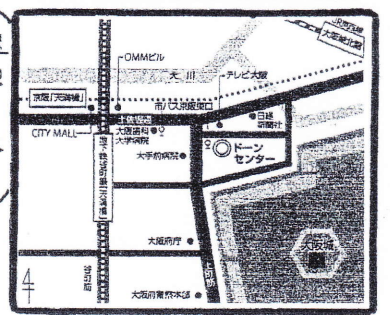
♥ 屋台村 ~ 交流にぎわいの広場 ~

☆ぜひ、よって見て下さい!!
・4階大会議室3
・7月31日のみ 11時~4時。
・ドーンセンター
大阪府立男女共同参画・青少年センター

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

主催: Weフォーラム2011実行委員会、Weの会、フェイス
共催: (財)大阪府男女共同参画推進財団
後援: 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会
協賛: 大阪府立西成高等学校

・京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅
1番出口から東へ350m
・JR東西線「大阪城北詰」駅
2号出入口から西へ550m
・市バス「京阪東口」からすぐ



問い合わせ: we2011@femix.co.jp

申し込み方法: 各分科会にメール、Fax 06-4980-1128 切 7月20日(水) 当日参加OK!

1. ナマステ! 五感で感じるインド

材料費1000円(定員8名)

講師: スプラマニヤン・ゴパルピライセン お早のこ! 要予約
(日本在住23年南インド料理店テラガオーナー、インドタミル語通訳 翻訳家)
イイ勢 茜さん
(インドアユルヴェーダアロマトミナ主宰、健康管理士一般指導員)

健康維持に欠かせないスパイスの効用、日常生活での活用法やアユルヴェーダ(インド古伝承医学)ホリスティックな家庭食文化の話も交えて、家庭でできる南インド料理の作り方を実際に教えていただきます。調理したものをランチとして、みんなで楽しくいただきます。

★チャイ(スウィーツミルクティー)付

☐ info@milana.jp

3. 自分の体を使って、糸を紡ぐ、織る

材料費1000円(先着15名)要予約

講師: 本出ますみさん (羊の原毛屋スペインウスホコ代表)

自分の体を使って、糸を紡いだり、織ったり、ニードルフェルトを作るワークショップ & デモンストレーション。遊牧民的な暮らし方の紹介。子どもからおとなまで、誰でも参加できます。

☐ maimai980910@docomo.ne.jp

5. 高校生が紡ぐ「ピア・サポート」

～人と関わる力を上げるためのワークショップ～(定員70名)

ファシリテーター: 高校生、大学生

ピア・サポートは、仲間同士が支え合う力をつけ、学校を安心して自分を出せる場に変えていく活動です。そのためのワークを、高校生、大学生がファシリテーターとなって紹介します。学生以外も大歓迎!!

☐ mandadayo29@docomo.ne.jp

7. 現代アーティスト名和晃平スタジオ

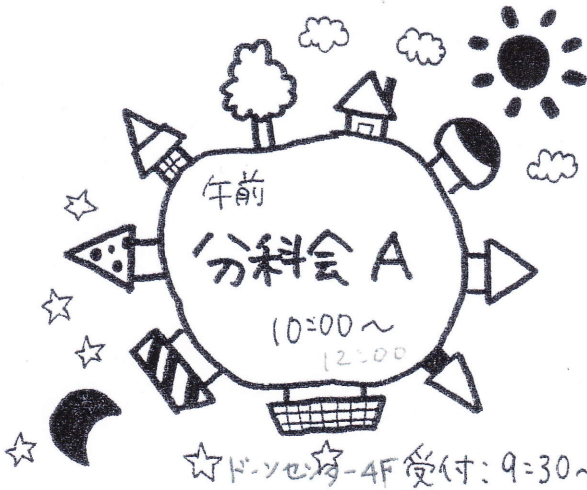
～「SANDWICH」の魅力～
(定員96名)

講師: 青山真樹さん (「SANDWICH」オーナー)

スタジオには

元サンドイッチ工場をリノベーションして生まれた、名和晃平さんをはじめ、アーティスト、デザイナー、建築家など、様々なジャンルのクリエイターが集い、現代アートの枠にはまらないコラボレーションを展開。今までのスタジオにない可能性と魅力についてうかがえます。

☐ asayuriasa@yahoo.co.jp



2. 家庭科はこれから生きていくための必須アイテム! ~働くことについて考える~

ファシリテーター: 月本章男さん (西成高校) (定員72名)
ユニオンまちぼち

学校では生徒たちに労働者の権利について教えるのがますます必要な時代になってきました。「働くことについて考える～労働者の権利」(解放出版社)を使って、ロールプレイを行い、意見交換や実際の事例について学びます。授業実践の情報交換も予定しています。

☐ morimorihiromao@gmail.com

4. 人生を楽しむ力

(定員30名)

～おっちゃんたちの紙芝居～

出演・トーク: 紙芝居劇団むすび (大阪市西成区)

平均年齢77歳。日雇い労働者の街、釜ヶ崎で働き住してきたおっちゃんたちの争ぐりの紙芝居は歌あり、笑いあり。おっちゃんたちの周りには笑顔がいっぱい。ぬくもりのある空間に、まどする人もたくさんいます。戦争やリストラ、野宿生活を乗り越えてきたおっちゃんたちの軽快でチャーミングな「人生を楽しむ力」に触れてみませんか?

☐ we731musubi@gmail.com

6. 癒しのヨーガ

(定員25名)

講師: 古市佳也さん (ヨーガ療法専門スタジオ「スタジオチャンドラ」主宰 日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士)

自分の心と体の声に耳をすませ、内側からのメッセージを感じとりながら心身のバランスを自分自身で整えましょう。ヨーガの智慧を通じて、自分の健康を自分でつくり出す簡単でやさしい技法をお伝えします。

☐ a.mii.chann777@gmail.com



8. 南インド古典舞踊ワークショップと 神社の宮司さんによる神々の話

講師: かわいら まなみさん (定員25名)
 (インド古典舞踊グループマヒカワダンスセンター主宰、関西日印文化協会理事)
 安達 利夫さん (大阪大正寺石坂神社宮司、大杉神社宮司)

太古からインドも日本も大宇宙大自然に身を合わせ音調する喜びを共に心の豊かさを育んできました。高校で異文化体験科目を教えておられるかわいらまなみさんと不思議なステップや目・指・腕などの動きを楽しみましょう。その後、ユニークな経歴を持つ宮司の安達さんから古事記を通じて今に伝える楽しい話と何でも質問タイムがあります。

☐ marga-m@nifty.com

9. 超高齢社会に立ち向かう

～スリ-A方式認知症予防教室～ (定員50名)

講師: 高林 実希樹 さん (NPO法人認知症予防ネット理事長)
 山本 真喜 さん (NPO法人認知症予防学会"まほしめ"事務局長)
 向井 陽子 さん (認知症ケアグループきらら代表)
 青木 洋子 さん (福知山市地域包括支援センター保健師)

スリ-A方式とは、明るく、豆をつかって、おぼろげな3つのAカセットの優しいセンサーと月並の機能を同時に幾種類も働かせ、みんなが笑うことを大切に認知症予防に有効なメニュー。各地の取り組みの報告のあと、参加者にその楽しさを実際に体験していただきます。

10. こんな風に生きてます

～心の病気をもち家族がいる人のリカバリー～

講師: 松永 貴久実 さん (NPO法人こころ・安心Light 代表) (定員30名)
 川辺 慶子 さん (大阪府精神障がい者家族連合会)
 久永 マサ子 さん (陶芸家、「拾得塾」参加者)
 河上 系子 さん (ちよと「ベテラン」パティシエの家で変わった私)

心の病気を家族も孤立の中で悩みます。セルフ・ヘルプ、啓発活動やそれを通しての気づき、どのように元気を取り戻してきたかを話していただき、参加者も安心して話せる交流の場にしたいと思います。

11. セクシャルマイノリティと学校教育

講師: 塩安 九十九 さん (G70+関西) (定員30名)

学校において、人権教育の実践は広がりを見せていますが、セクシャルマイノリティにかかわる取り組みは未だ十分にすすんでいません。「性の多様性」を学習する大切さをDVDを見ながら共に考えていきたいと思います。

☐ ma45hg55ml@kcn.jp

12. 勝てなくてもいい、でも決して負けない

～ビッグイシューの取り組み・社会的企業の展望～

講師: 土田 朋永 さん (編集スタッフ)、販売員さん (定員70名)

「街角で雑誌誌「ビッグイシュー」を販売している人を見かけたことはありますか? ビッグイシューは「ホームレス」の人をチャリティ(慈善事業)の対象としてではなく、対等なビジネスパートナーとして考え、自立の支援をする社会的企業です。売り上げの一部が販売者の収入になるシステムで、「個性と魅力あふれる誌面」で多くの人の共感を呼んでいます。そのチャリティの過程と社会的企業としての展望を編集担当者や販売員から聞き、話し合います。

☐ webig2011@yahoo.co.jp

13. 人が集まる! 行列ができる! おはやめに! 講座とチラシの作り方

講師: 吉田 清彦 さん (講座・イベントプランナー、調理師) 要予約
 資料代600円

「豊富な経験と実績で評判」の講師が、テーマの決め方やタイトルのつけ方、チラシの作り方や広報戦略など、数多くの事例を基に、分かりやすく解説し、すぐに役立つノウハウを伝授します。希望者には、+400円でチラシの半直しも行います。(要予約)

☐ ptokei04@s5.dion.ne.jp

Tel/Fax 06-4980-1128

14. お茶をのみながら ～チェルノブイリ、その後のケア現場からの報告～

講師: 古市 佳世 さん (6.参照) (先着20名) おはやめに
 参加費1000円

ウクライナのキエフ市で、日本の研究チームによる子どもが療法をうけた被曝者たちは、抗酸化、抗ストレスの効果が顕著に顕れ、着実に成果があがっています。チェルノブイリ原発事故の被曝者にたいして実施した実験データの一部を公開していただき、被曝者のおかれた立場の現在の生の声をうかがいませんか? 今、福島で起きていることを前向きに、肩の力をぬいて、一緒に考えてみましょう。* 参加費1000円にはお茶代も含まれます。

☐ a.michann777@gmail.com